



**歐洲戰の性格と交戦國を動かす人々**

政治家、外交家の活動振り

【三】 いかにもここに英佛獨の運命的悲劇がある。英國は海上の帝國として自分が安全であるから何處へも援助の手を伸べられるといはれた。これが第一次大戦の原因であつた。しかし現在のイギリスはヒットラー氏のいふ如く安全な「島」でなくつた。だからイギリスの国防網はライン河にも、ウイスチラ河にも延びる。イギリスは何故に第一次大戦が勃發したかの原因を自覺しないから、第二次大戦を勃發せしめたのである。

第一次大戦當時、英獨兩國の心理的説明が試みられ、英語のカルチャード、ドイツのクラッカルとの文化的戦ひであるといふ意見があつた。ヘンダーソン氏はヒットラー氏がその行ひつつある兵力、警察力併用の暴君政治が、英國の個人的國家の自由に対する理念によつて何故に嫌怒すべきものであるかを解し得ない、何故に小國民を優秀なドイツ人材と見なすが、東歐に由来する手腕を揮ふことが、英國民によつて許されないかを

（投書） 沖縄海協一員

一、吾人は縣諸先輩に對し今い。日迄絶大の敬意を表し、又よく第一義たる總親の目的に反する故、今回問題の内容を比較的よく聞かされて兩派の立場を知悉してゐる。前の大戦當時から暗闇に終始し、紙上でかゝる以下の如き意見を公表するは吾人として諸先輩より受けたる今日迄の御愛顧に對して餘りにも無禮なことであるが、在留縣民の名前には代へられない敬意を表して先輩諸賢に苦言を呈したい。三、我が縣民は質實、剛健如何に對して餘りにも耐え得る美德を發揮してゐる。團體生活に對しても實に大なる功績を挙げてゐる。團體心に富むるに其の指導者たる先輩諸賢の現状は？

諸賢の本來の目的は總親和である。協會本來の行爲も甚だしくはらす偽善的である。關はらずに其の指導者たる先輩は、何處へ。唯か喰はれるか

も解し得ないといつてゐるが、イギリスに於いては上流の一萬人は他國に見るべからざる富と豪奢の生活をしてゐるに反して、その形式の民主主義に對して、英國民は政治的平等の形式の下に社會的の不平等の生活を當然とする如く、イギリスの支配する國際的秩序がますます貧ならしめることを當然として怪まない。

貴族的平和の環境に潤滑し、少しどもその尊閑を攘棄せんとする亂暴者が傲然としてその貴族的平和の環境に潤滑し、少しどもその尊閑を攘棄せんとする乱暴者が、これで極度に嫌惡する如く、イギリスの目から「獨裁者の意思と野心」とが、から「獨裁者の意思と野心」とが、英國民は考へるのである。

ヘンダーソン氏はナチズムがドンダーソン自身の國境に行はれてゐる間に、「個人的趣好が從つて批評し、同情し、また單に憂慮」してもよかつたが、國境外

に出て平和を擾亂する時は戦争の外はないといふが、ナチズムは退撫保守的の國家理論でないものならぬイギリスの決意一は自然發展の國民哲學でつである。〔完〕

この戦争目的を完全に達するには、兩國は倒れ後やむはるにヒットラー統領の言葉は、必ずしも誇張した宣傳を見得でない。この戦争目的を達するには、兩國は倒れ後やむはるにヒットラー統領の言葉は、必ずしも誇張した宣傳を見得でない。

米國では新しい美容法として、水蒸氣にオゾンを混ぜたものを噴射器で皮膚や頭皮に吹き付けることが行はれ出た。オゾンはスコット自身の國境に行はれてゐる間に、「個人的趣好が從つて批評し、同情し、また單に憂慮」してもよかつたが、國境外

## 歐洲戰の性格と交戦國を動かす人々

### 政治家、外交家の活動振り

## 決議文

昭和十五年一月十四日午後九時より在亞沖縄縣海外協會事務所に於て有志會を開催し本會の發展を期し度く全會一致左記の事項を決議せるより之れを在亞縣人諸賢に公開す

一、三邦字新聞掲載の臨時總會召集廣告文連名者中其の事項に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二、二月中旬に大々的にビックリックを開催し在亞縣人の親睦を一層緊密ならしむるを期す

三、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

四、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

五、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

六、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

七、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

八、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

九、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

十、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

十一、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

十二、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

十三、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

十四、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

十五、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

十六、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

十七、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

十八、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

十九、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二十、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二十一、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二十二、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二十三、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二十四、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二十五、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二十六、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二十七、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二十八、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す

二十九、必要に應じ臨時總會を開催せしむる用意あるを附言す

昭和十五年一月十四日

事件に全般關知せざる者の姓名又は非會員の氏名を書き連ねたるは合法的に非ざるを以て吾等は臨時總會と認めず、先般總辭職の意志を表示したる現役員は有志會一致して現職の監督留任を承認し極力會務の遂行を支援す



